

セミナーでは価格や金利水準などを解説



有楽町でマンションフェア

2日間で2000人来場

女性のための快適住まいづくり研

女性のための快適住まいづくり研究会(小島ひろ美代表)は4月14、15日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで東日本大震災の復興支援も兼ね、今年で3回目となる「女性のマンション購入・春の応援フェア」を開催し、2日間で2000人を超える入場者を集めた。ジャーナリストの櫻井よし子氏を講師に招いて2日目に開かれた「女性が日本を元気に! 輝く女性になるために」と題した特別記念セミナーには800人の定員を超える女性が参加した。小島代表はセ

ミナー講演で、被災地を訪れた時に目にした懸命に生きる被災地の人々の様子を伝えると共に、震災復興を兼ねた同イベントの開催について協力を呼びかけたマンション各社から快諾を得られ、今回18社の協賛が得られたことなどを冒頭説明した。

同会では、会場で集まった募金と各社の協賛金からの一部を義援金として、被災した津波遺児を支援している「あしなが育英会」に送ることにしている。

小島代表はまた、会が発した当時と比べると、独身女性に対して金融機関が積極的に住宅融資を行うように様変わりした現状や、マンション価格と金利が低い水準で推移しているマンション市況などを解説。女性のマンション購入者にとって今の環境は追い風だと説明した。

震災復興兼ね18社が協賛

同研究会も都内3拠点と大阪にあるマンションライブラリーなどを通じて最新の情報提供に努めて、マンション購入を考えている女性を強力にバックアップしていくと語った。また将来的には、マンション購入のための独自の基金を立ち上げる構想も披露。より多くの女性のマンション取得を支援できるように、新たな試みにもチャンネルジしていく考えを明らかにした。